

一橋慶喜の登城を停止したり。大波瀾の起るべき
機運は、刻々に其勢を高め來れり。(つづく)

(正誤) 前號の本文中、三十八頁下段の五行に「三橋の一
たる」さあるは、「三卿の一たる」の誤植。また四十頁下段
の十二行「天章院夫人」は、天璋院夫人」の誤植。

日本のこのくにふりのかしこさも

やまごころばの上に見えつく (近衛忠熙)

月はなほ春のならひにかすむ夜も

さやかに見ゆる花のいろかな (同上)

うしと思ひうれしと思ふもこひ慕ふ

こゝろひさつの迷ひなりけり (同上)

盡し忠全、節身魚、耻、懐、古傷、今悶難、禁、(橋本左内)
囊裡疏書悉心血、袖中詩卷半精神 (同上)



落花文苑

鷺水

池の花

池のかなたの

すがたをうつす

そよとの風に

ヒラ／＼と散る

野の花

暮れゆく春の

ちりにし花の

戀しき野邊を

こゝにも迷ふ

水の面に

稚子ぞくら

はかなくも

うつの世や』

夕まぐれ

跡とひて

とめ來れば

蝶胡蝶』